HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	1 お願い状（札幌市）
Citation	北海道アイヌ民族生活実態調査報告，4，121-121
Issue Date	2015-09-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/60116
Type	other
File Information	AINUrep04 (10).pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

付属資料１

平成２６年１０月３１日

札幌市民各位

北海道大学大学院教育学研究院教育社会学研究室
北海道大学アイヌ・先住民研究センター兼務
教授　　小内　透
札幌市北区北１１条西７丁目
TEL＆ FAX （011）706-3093

学術調査へのご協力のお願い

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

北海道大学アイヌ・先住民研究センターでは、平成 19 年のセンター開設以来、道内におけるアイヌ民族の方々の生活実態とそれを取り巻く地域社会の環境を明らかにするため、各種の社会調査プロジェクトを実施してまいりました。平成 20 年に北海道アイヌ民族生活実態調査（アンケート調査）、平成 21 年に札幌市およびむかわ町においてアイヌの方々を対象にしたインタビュー形式による生活実態調査を実施したほか、教育社会学研究室でも「先住民族の労働・生活・意識の変容と政策課題に関する実証的研究」（平成 24～27 年度・基盤研究Ａ、研究代表者・小内透）というテーマで文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金による助成を受け、センターと連携して、新ひだか町、伊達市、白糠町などにおいて地域社会の状況に関する調査研究を進めております。

こうした研究の目的は、平成 20 年にわが国の衆参両院において「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が全会一致で採択されて以降、新たなアイヌ政策が進展している現状をふまえ、アイヌの方々が数多く居住する地域社会の実情、および地域住民のアイヌ文化やアイヌ政策に対する意識を把握することを通して、政策的な課題を改めて検討するための基礎的な資料を得ることにあります。そのためには、アイヌの方々だけではなく、アイヌの方々を含めた地域住民の皆様の交流の実態、アイヌ文化やアイヌ政策への意識などを把握することが必要になります。この目的に沿って、本年度は、札幌市にお住いの皆様を対象として「地域住民の日常的な交流の実態とアイヌ文化・アイヌ政策についての意識」に関する調査を実施する計画を立てました。

具体的には、**札幌市にお住まいの満 20 歳以上の方々**から、**無作為**に 1,200 名を選ばせていただき、住民の日常的な交流とアイヌ文化やアイヌ政策に関する意識について、アンケートをお願いすることになりました。なお、**皆様のお名前・ご住所につきましては、正規の手続きを経た上で、札幌市各区の選挙管理委員会の選挙人名簿抄録を閲覧させていただきました。**

お答えいただいた**結果はすべて統計的に処理されますので、お名前や内容が外部にもれることはいっさいございません。**あなた様ご自身が回答用紙にご記入の上、**１１月１４日（金）まで**に、同封いたしました封筒に密封してご投函ください。**切手を貼る必要はございません。開封と保管は北海道大学教育社会学研究室が責任を持って行います。なお、同封したボールペンにつきましては、ご返送いただかなくても構いません。記念にお受け取りください。**

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、どうか調査の趣旨をおくみとりいただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具